

年 組 名前:

パリ生地見本市に和紙

市川三郷・大直出展 海外展開見据え



和紙製品の製造などを手がける大直(市川三郷町高田)一瀬美社長は9月、フランスで開催される世界最大規模の洋服などに使われる生地の見本市「ブルミエール・ヴィジョン・パリ」に初出展する。伝統的な製法で作った和紙やポリエステル繊維から開発した素材などを出品する。同社は「しっかりとPRし、海外でのビジネスにつなげていきたい」としている。

〈山本昂輝〉

同社によると、ブルミエールは世界での主要な素材メーカーが出品する、最も73年に設立された見本市で、フランスのパリ北郊外の会場で年に2回、各3日間開催される。世界中から1200社以上が出展し、来場者は3日間で3万人以上となる。

今回は11、13日に開催。同社が出展するのは国際的な職人技を紹介する特設エリア「メゾン・デクセプション」で、国内からは同社のほかから社が出展する。和紙業者が出展するのは珍しいという。

日本の職人が加工した「NAORON+」

大直は伝統的な製法ですいた和紙のほか、ペットボトル由来の再生ポリエステル繊維から作った素材「NAORON(ナオロン)」や、京都の友禅染の職人などが加工した「NAORON+」(ナオロンプラス)などを出品する。

一瀬社長が昨年6月に同見本市を訪れた際、事務局に同社で扱う和紙などを見せたところ、今回の見本市へ誘われたという。一瀬社長は「和紙は長期保存可能で、繊維をほぐせば繰り返し使えるサステナブルな素材。耐久性に優れたナオロンもさまざまな表現方法が可能で、ファッション業界において大きな強みになると確信している」と話していた。

(2025年2月4日付 山梨日日新聞7面)

問1 和紙製品の製造などを手がける会社は、どこの国で開催される何という見本市に出展しますか。

・国名: ・見本市名:

問2 出展する「NAORON(ナオロン)」とは、どのような素材ですか。

.....

問3 一瀬社長は、和紙の良さをどのように話していますか。

.....